

別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	加東市民病院経営健全化基本計画評価委員会
開催日時	平成30年12月19日(水) 14時から15時45分まで
開催場所	加東市民病院 会議室
議長の氏名 委員長 浅野 良一 出席及び欠席委員の氏名 出席委員：西山 敬吾、松浦 千秋、三木 秀文、高橋 優、小西 勝之 欠席委員：藤井 和美	
説明のため出席した者の職氏名 市長 安田 正義	
出席した事務局職員の氏名及びその職名 病院事業管理者 金岡 保、事務局長 大橋 武夫、看護部長 黒崎 良子、 ケアホームかとう事務長 中村 勇、経営企画課長 大末 美佳、 総務課長 堀田 敬文、医事課長 谷口 一史、総務課係長 山中 元	
議題、会議結果、会議の経過及び資料名 1 開会 2 挨拶(市長) 3 病院事業管理者プレゼンテーション(経営健全化に向けた取り組みー全適後1年8か月を経過してー) (質疑応答) 委員 椅子が画期的。どのような方が来られるか、横になることもでき、すぐに立てるソファである。そこに着眼してくださった、市民にやさしい病院であると感銘をうけている。 事務局 抗菌対応で汚れがついても拭きやすく、硬めではあるが立ち上がりやすいものを選んだ。 委員 問題意識の共有を。プレゼンを聞きケアホーム頑張れが言いにくくなったが、頑張っって欲しい。連携してケアホーム利用率を100%近くにしてほしい。 病院は綺麗になっている。これからも患者の思いを考えてほしい。 9月が落ちているのは空調工事の影響か。 事務局 9月は落ちる。 委員 9月は季節的によい時期で病気のない月である。どこの病院も9月は落ちこむ。 委員 設備投資するにも自己資金がない。経営が悪いからといって投資しないわけにはいかない。継続企業であるという長期的なスパンで考えないと患者は増えない。 クロスや床の修繕は、経営状況とは切り離して実施するべきではないかと以前申し上げたが、床やエレベーター内など綺麗になっており、整理整頓清掃がきちりできている。 高齢者にやさしい病院にするため、かかりつけ医との信頼関係の構築が必要である。 紹介率、逆紹介率は年々増加しておりよい傾向である。	

入院収益が急激に上がっている。

3つの事業のうち病院事業は改善している。これを推し進めていくのが皆さんの共通の認識である。訪問看護、介護老人保健施設はのび代は少なく数%下がってきている。訪問看護は人件費が多いが改善されてきており、さらに登録者や利用者を増やす必要がある。赤字の部分を少しでも減らす努力をし、3部門が共通の認識でわずかなのび代分を頑張ってもらいたい。

事務局 訪問看護に関して24時間体制で実施するためには正規職員が必要です。嘱託パートのみで実施すれば経営状況は改善するが、24時間対応は出来なくなる。24時間対応をやめれば給与費比率は下がるが、自治体病院として必要であると考えるので24時間体制は死守します。その結果、入院患者が増え病院の入院収益を上げることを目指します。

委員長 看護師は何人ぐらいですか。

事務局 訪問看護の職員は、正規6人、パート2人です。

委員 経営は改善されているので特に問題ない。これから職員を増やすのにどうしていくか、正規職員を増やすと給与比があがる。ケアホームの問題、地域包括ケア病棟への入院を増やす、収支計算、経営の見方、費用の増、それをどうすればよいかという検討が必要である。

事務局 近隣病院の上手くやっているところが勉強になる。

委員 財務省を中心とする国家的な課題として、厚生労働省で診療報酬の点数が決められており、算定要件がたくさんあり、どうしても利益はでない。頑張っても赤字になる体制であり、医療者は苦労している。すごく先生は勉強されている。

「もちつもたれつ」あえて機能分化という言葉を使わない意味はなにかあるのでしょうか。

不採算部門をあえて持っているのが公立病院としての役割である。総合病院に入院できると住民は安心できる。

加東市民病院は地域環境からするといい場所にあり、上手に機能分化しているのでよい数字がでていいる。

委員長 早くに決断をし、すみ分けている。

事務局 機能分化というとスタッフの心情からして「治療がないからこちらで」といわれているように感じるので、もちつもたれつという言葉にかえていいる。

不採算部門といわれる診療科もあるが、診療科以外に予防接種や健診などを実施してもらっており、評判もよい。

委員長 加東市は住みやすさランキングの上位であるが、医療体制も貢献しているのですか。

市長 加東市は県内2位である。いろいろな視点があり、市民の思いと一致しているのかどうかと思うこともある。市民ニーズは様々であるが、市民が実感できるものになりたい。

委員長 医療関係のいいところを市の活力に繋げて、市民の住みやすさの実感へと繋げていってほしい。

委員 かかりつけ医として加東市民病院にかかっている方が、救急で西脇病院に入院となったが、その後帰ってこられるよう連携をとるにはどこに相談すればよいのか。

ケアホームの入所を男性が断られる。男性部屋の拡充を希望します。

事務局 本人家族の意志を主治医が受けて地域医療連携室に話をして連携するので、入院中の主治医に相談してほしい。

委員 家族から主治医に言えばよい。

委員 ケアマネが家族の希望を主治医に伝えてもよいのか。

委員 病気治療にケアマネは介入できない。本人家族と共に希望を主治医に言うこと。

事務局 ケアホームについては男性部屋を増やしたが、女性の入所者の割合が多く、女性に対応出来ない状況となった。

事務局 男性をお断りすることもある、待機者20人のうち男性は少なく、女性が多い。女性是他施設等への退所もあり回転するので案内できるが、男性は長期化することが多く案内できないこともある。ベッドを空けたくないため、女性のほうが受入れしやすくなっている。1人減となると利用率が2%落ちる。利用率からすると男性は4～6人になっている。

委員 95%でまわっていればよい数字。高齢者も女性の方が多い。

4 協議事項（加東市民病院経営健全化基本計画進捗状況）の説明（事務局）

5 閉会

平成31年1月17日

委員長 浅野良一 